

宇宙戦艦ヤマト

ささきいさお

TVシリーズ「宇宙戦艦ヤマト」より

「宇宙戦艦ヤマト」Music by 宮川泰
© 1974 by Yomiuri-TV Enterprise

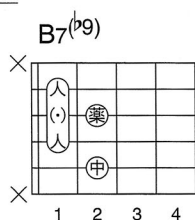
「機動戦士ガンダム」と並び、70年代アニメ・ブームの火つけ役となったTVシリーズ「宇宙戦艦ヤマト」(1974年)の主題歌。作曲の宮川泰は、ザ・ピーナッツ「恋のバカンス」などでも有名な歌謡界の重鎮。2006年に心不全で急逝しているが、葬儀の出棺時には本人の意向でこの曲が生演奏された。

ストロークは右手人差指などで行ない、同時に弾くメロディは基本的にストロークと別にピッキングするのではなく、ストロークしたコードのトップがメロディになっている。ストロークによるコードは固まりとして鳴っていれば良いので、指定された全弦を正確に弾く必要はない。ストロークのトップが1弦ではない場合は、弾かない弦に右手の空いた指を乗せるなどして消音しておく。ストロークがどうしても難しい場合は、**A**を参考に、ベース音でリズムを刻みながらメロディを弾いていく形で代用しても良いだろう。

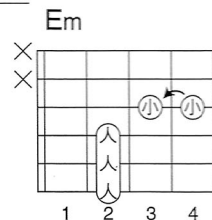
- ①最初は図1のようなフォームで、2～4弦1fを人差指で部分セーハ。この時に指頭が4弦にくるようにしておき、次の2弦開放・B音を弾く時点で人差指を立て、指頭(4弦1f・D#音)を残してセーハを外す。
- ②人差指で2～4弦2fを部分セーハする(1弦は押さえても押さえなくても良い)。
- ③2弦開放・B音を伸ばしたまま、4～6弦を部分セーハしてストロークする。
- ④この部分セーハ(4～6弦2f)は、4拍目の運指の都合上、人差指以外の指を使って押さえる。
- ⑤F#m7(b5)は図3のようなフォームで押弦。5弦は、6弦4f・F#音を押さえた薬指で触れて消音する。次のB7sus4へは、6弦を押さえた薬指を軸に移動。B最後のブラッシングは、4～6弦を部分セーハし、ハイ・ポジションからロー・ポジションへ移動させながらストロークしていく。ここは普通のブラッシングと違ってしっかりと押弦するが、音程は適当でOK(付属CDを参考に)。
- ⑥人差指で4～6弦を部分セーハし、今度はロー・ポジションからハイ・ポジションへ移動させながらストロークで弾く。
- ⑦2拍目と4拍目のストロークは、右手人差指で弦を叩くような感じで強めに弾く。
- ⑧4～6弦2fの伴奏は親指でストロークし、1弦開放・E音のメロディは薬指などで独立してピッキング。
- ⑨最初のF(13)は左手人差指で3fを全セーハし、4～6弦を親指でストロークすると同時に、2弦3f・D音は中指などで独立してピッキングする。次のEmは4～6弦を左手中指で部分セーハし(図4)、親指でストロークすると同時に2弦のメロディを独立してピッキング。最後のEmも1弦開放・E音のメロディは、同時に弾くストロークとは独立してピッキングする。

奏法ポイント

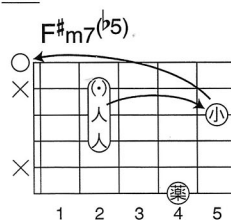
●図1



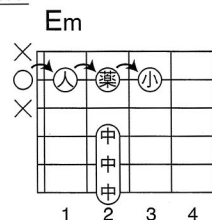
●図2



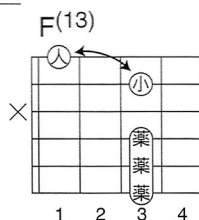
●図3



●図4



●図5



Intro G(onD)

⊕ Coda